

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなで作る未来型図書館



ニュースレター vol.7



未来型図書館の立地エリアが「芦城公園周辺」に決定し、基本方針やビジョン・コンセプトについて描かれた基本構想もついに完成しました！
今年度からは具体的な立地場所や機能、官民連携による事業手法など、さらに多角的な検討を行い、次のステップへと進めてまいります。

基本構想完成

定義もないところからスタートした本プロジェクトですが、令和4年度の基本構想策定委員会や、つながるミーティングでの対話を通じて、未来型図書館で実現したい一人一人の想いやアイデアが共有され、ビジョン・コンセプトとして言語化されてきました。基本構想には、これらに加え、コンセプトに基づき未来型図書館に必要なと考えられる機能として、「知る」「学ぶ」「交流する」など多面的な機能が描かれています。

この基本構想の実現に向けて、今後も対話を重ねながら、市民の皆さんに親しまれる施設づくりを目指していきます。

基本構想は市HPからご覧いただけます！



つながるミーティング

タイトルは、わくわくしよっさ！
～未来型図書館がやってくる～

全5回の対話と活動の記録をとりまとめた「本」が完成！対話やまち歩き、地域資源マップづくり、妄想ストーリーを描きながら、小松市ならではの「未来型図書館」について考えました。



令和5年度は、この市民ワークショップを発展させた「こまつりビングラボ（仮称）」の活動に取り組みます！



図書館エディター養成講座

図書館と地域をむすぶ協議会のチーフディレクター太田剛さんによる講座が終了し、「図書館エディター第1期生」が誕生しました！
6ヶ月間にわたり、基礎編集術からインタビュー術、ブログ術、カメラ術、SNS心得などを学びました。今後は、講座で学んだスキルを活かしていただく機会を設けながら、図書館づくりを盛り上げていきます！

...受講生の声...
・初めて知る知識ばかりで新鮮！
・自分の人生にも役立ていきたい！等



みんなで作る未来型図書館

リレーエッセイ

第7回目は杓谷茂樹 先生です！

公立小松大学国際文化交流学部 教授

公立小松大学の杓谷茂樹です。私はメキシコをフィールドに観光人類学の研究をしています。学生と一緒に未来型図書館つながるミーティングに参加させていただいています。

これまでの図書館では、情報は本という「入れ物」に入っていて、それが図書館という「箱」に整理しておかれていて、利用するにはそこに行かなければなりません。でも、「未来型」の図書館では、ひょっとしたら情報は必ずしも「入れ物」に入っていないでもいいし、それが「箱」の中に収まっている必要もないかもしれません。昔は路地裏でお年寄りが子どもたちにいろんなことを教えたりしたものです。人の中にある知恵を含めて、小松市内いたるところに情報はあふれていますし、必要とする人が、必要な情報を得られる、そんな路地裏のような交流のある場所が、私の「未来型」図書館のイメージです。それは市民がどうつき合っていくかによって、いかようにも成長していくものなのだと思います。なんだかワクワクしますね。



杓谷 茂樹 教授

お知らせ

頑張ります！



「未来型図書館づくり推進チーム」について、今年度より、**教育委員会から市長部局へ移管**されました。市庁舎4階にメンバーがいますので、お気軽にお越しください！

Instagram 市HP



みんなで作る、みんなで作る未来型図書館へ